

【2020年 6月】 担当者 品目別コメント (対照期間6/1~6/30)

品目品種	出荷ウエイト予測	主産地	産地状況コメント
小菊	上旬	茨城・静岡 埼玉・福島 沖縄	茨城県産は、路地物の出荷も始まり数量は安定するが、低温の影響もあり下位等級の比率が上がる。 静岡県、埼玉県産は、6月の上旬頃に数量は纏まる見込み。 沖縄県産に関しては、夏小菊中心の出荷となる。
	○		
	中旬		
	○		
白菊	下旬	愛知・福岡	愛知産については、5月一杯で夏菊に予対は切り替わり、上位等級中心の入荷となる見込み。 長野産については、今の所は昨年並みの生育の為、6月中旬頃からの出荷となる見通し。
	○		
	中旬		
	○		
黄・赤菊	上旬	愛知・静岡 茨城・長野	通年出荷産地はほぼ夏菊に切り替わる。 高冷地産については、6月中旬頃からの出荷となる見込み。今の所生育は順調だが、赤菊の出荷が若干早めとなる。
	○		
	中旬		
	○		
SPマム	下旬	愛知・栃木 外国	愛知、栃木中心に上位等級主体の入荷となる。 又、上旬から栃木県那須野産、 中旬から岩手産 の出荷が始まり、高冷地産の数量は増加していく見込み。 愛知、栃木、静岡産では夏系品種も出始め、徐々に秋系品種から夏系品種へと移行し始める。 輸入品に関してはコロナウイルス次第だが、4月、5月同様少ない見込み。
	○		
	中旬		
	○		
ディスプレイ	上旬	愛知・静岡 輸入	愛知産中心の入荷。気温の上昇と共に品種によって色抜けが目立つようになってくる。 昨年は7月より出荷開始となった秋田産が、本年は6月下旬より出荷開始を予定している。
	○		
	中旬		
	○		
	下旬		
	○		

※出荷ウエイト予測・・・昨年対比率(%)における上・中・下旬の出荷ウエイト予測。 ◎非常に多い、●多い、○中間値、△少ない、▲非常に少ない

品目品種	出荷ウエイト予測	主産地	産地状況コメント
枝物	上旬	群馬・埼玉 東京・愛媛 和歌山	群馬産のブルーベリーが5月22日から始まり、6月中は潤沢な出荷を見込んでいる。 愛媛、和歌山のスモークツリーが6月初旬～中旬にピークを迎え、出荷纏まる見込み。 リョウブや房スグリが埼玉産中心に6月初旬から纏まる見通し。 ※各産地、コロナウイルスの影響による販売状況を、かなり気にされている様子が窺える。
	○		
	中旬		
	○		
	下旬		
	○		
アジサイ	上旬	千葉 東京・外国	大島産のアジサイが6月初旬頃から、埼玉県産が中旬以降ピークを迎える見込み。各産地、多少の遅れはあるものの、例年並みを見込んでいる。 千葉県産も『青木園芸』中心に、6月頃から少しずつ増えてくる予定。 外国産は、ニュージーランド産が終わり、オランダ産へと切り替わる。コロンビア産はコロナウイルスの影響により、販売状況が著しく厳しく、4月後半から5月の出荷を見合わせていた商社も、6月から少しずつ増えてくる見通し。
	○		
	中旬		
	○		
	下旬		
	○		
ヒペリカム	上旬	外国	引き続き、コロナウイルスの影響で便の欠航等あり、ケニア産(「キャンディフレア」等)は出荷厳しく、エチオピア産(「ココシリーズ」)も不安定な出荷が続く見込み。国産は、早い産地だと6月末から始まる見通し。
	△		
	中旬		
	△		
	下旬		
	△		
カーネーション	上旬	国産	暖地が出荷終盤で、今期終了となる。 高冷地が暖冬の影響により、例年より1週間早い出荷となる見込み。
	○		
	中旬	輸入	南米産は売れ行きにより数量減となる。
	○		
	下旬		
	○		

※出荷ウエイト予測・・・昨年対比率(%)における上・中・下旬の出荷ウエイト予測。 ◎非常に多い、●多い、○中間値、△少ない、▲非常に少ない

品目品種	出荷ウエイト予測	主産地	産地状況コメント
ハラ	上旬	西南暖地	<p>コロナウイルスの影響大きく、生産地にて出荷を抑制する動きが加速すると思われる。プライダル品種などは早めに植え替えなどを行い、秋のプライダルに期待する生産者多数。</p> <p>昨年の暖冬の影響で例年より出荷が早まっており、上旬に纏まる可能性はあるが、中旬以降減少する見込み。西南暖地同様、下位等級の出荷など抑制する可能性がある。</p> <p>コロナウイルスの影響でほぼ出荷無し</p>
	○		
	中旬		
	△		
オンシジューム	上旬	国産	<p>“ハニー”系中心に増加へ向かう。</p> <p>台湾方面は量産期を迎えるが、便数の関係から販売単価次第では不安定となる可能性有り。</p>
	○		
	中旬		
	△		
デンファレ	上旬	輸入	<p>タイ方面は天候不順の影響により出荷量は減少、例年並みの入荷。「アンナ」系は極端に少ない。</p> <p>沖縄方面は「Jハワイ」主体に増加傾向となる。</p>
	○		
	中旬		
	△		
ランルイ	上旬	輸入	<p>全体的に5月並の入荷推移。タイ方面は「カリッリ」、モカラのオレンジ・イエロー・ブルー中心に安定した入荷。</p> <p>台湾産はハンダの出荷継続。</p>
	△		
	中旬		
	△		
	下旬		△

※出荷ウエイト予測・・・昨年対比率(%)における上・中・下旬の出荷ウエイト予測。 ◎非常に多い、●多い、○中間値、△少ない、▲非常に少ない

品目品種	出荷ウエイト予測	主産地	産地状況コメント
アンスリウム	上旬	輸入	昨年から台湾方面は作付け減少。コロナ関連の輸送問題も重なり、出回り量は例年より少ない見込み。
	△		
	中旬	国産	
	△		
	下旬		
△	千葉方面、福島方面より安定入荷の見込み。		
ハモ/	上旬	国産	八丈島産はルスカスとロベが減少。レザーファンは出荷増となる。 沖縄はアレカヤシ、モンス、ドラセナ類中心の入荷。 千葉はハラン、ソテツが減少となる
	△		
	中旬	輸入	
	△		
	下旬		
△	引き続き航空運賃の上昇、スペース確保の問題等あり、出荷国によりまちまちな状況となる。		
鉄砲ユリ	上旬	千葉	上位等級から下位等級まで出荷あるものの、数量的には非常に少ない状況となる見込み。
	○		
	中旬	岐阜・長野	
	○		
	下旬		
○	岐阜はオランダ産球根中心に、上旬から3産地出揃い、纏まった入荷となる見込み。品種構成もバラエティに富んだ構成となる見込み。 長野は上旬頃からオランダ球の品種より出荷始まり、中旬頃から新テッポウの入荷が見込まれる。		

※出荷ウエイト予測・・・昨年対比率(%)における上・中・下旬の出荷ウエイト予測。◎非常に多い、●多い、○中間値、△少ない、▲非常に少ない

品目品種	出荷ウエイト予測	主産地	産地状況コメント
オリエンタル	上旬	高知	土佐地区より「カサブランカ」中心の入荷見込み。春野地区など色物は上旬で出荷終了となる見通し。
	○		
	中旬	山形	庄内地区より「シベリア」「シェイラ」「コンパニオン」など中心に、入荷増加傾向にあり。山形市内に関しては「シベリア」中心の入荷となる見込み。
	○		
	下旬	新潟	下越地区より「カサブランカ」に加え、白系・ピンク系の入荷見込み。オランダ産球根に加え、国産球根を使用したボリュームある状態の良い物の入荷が増えてくる。中越地区からは「カサブランカ」中心に施設物の色物が、徐々に出荷数量増えてくる見通し。中越地区の「カサブランカ」は球根から自家養成に努めている。
	○		
アジアティック LA	上旬	埼玉	深谷中心に、黄色・オレンジ・白・ピンク系の入荷見込み有。中旬に向けて数量増加してくる見込み。また上旬はスタンダード品種に加え、スペシャル品種と称し、複色系や無花粉品種などの入荷もある。
	○		
	中旬	群馬	黄色・オレンジを中心に、ピンク系の作付も有。2Lクラスを中心に、Lクラスまで入荷が見込まれる。
	○		
下旬	茨城・大阪 長野 鹿児島	上旬にて鹿児島からの出荷は終了となる。徐々に茨城からの出荷が増え、長野、大阪も下旬にかけて出荷増。品種において、上旬は白・ピンクが中心となり、下旬にかけて紫・緑・複色等バリエーションも増えてくる。	
○			
下旬	○		

※出荷ウエイト予測・・・昨年対比率(%)における上・中・下旬の出荷ウエイト予測。 ◎非常に多い、●多い、○中間値、△少ない、▲非常に少ない

品目品種	出荷ウエイト予測	主産地	産地状況コメント
カラー	上旬	千葉・福島	千葉は、湿地性は概ね出荷終了。 福島は、下旬に向け畑地性が増加する。
	○		
	中旬		
	○	山形・熊本	
	下旬		
○			
アリアム	上旬	岩手・長野	露地作型のギガン中心に月初から徐々に増加。 中旬頃まで安定した出荷となり、下旬は少量出荷となる。
	○		
	中旬		
	○	北海道・新潟	
	下旬		
△			
アガパンサス	上旬	静岡	生産量は減少している。 ハウス物は中旬頃に纏まり、露地物は下旬頃から100本入りでの出荷を予定。
	△		
	中旬		
	○	千葉	
	下旬		
○			
アルストロメリア	上旬	愛知・長野 山形	愛知、長野は改植に入ってる品種もあり、品種数は減少していく。愛知はオレンジ・紫・赤の出荷が大半になる。 山形は品質も良く、黄色・ピンク・白中心に出荷量は安定する。
	○		
	中旬		
	○	北海道	
	下旬		
○			

※出荷ウエイト予測・・・昨年対比率(%)における上・中・下旬の出荷ウエイト予測。 ◎非常に多い、●多い、○中間値、△少ない、▲非常に少ない

品目品種	出荷ウエイト予測	主産地	産地状況コメント
グロリオサ	上旬	高知	引き続き「ササンウインド」中心の出荷となり、黄色・オレンジ・複色系は多くはないが出荷は続く。
	○		
	中旬		
	○	愛知	黄色・オレンジの小輪、中輪を中心として、少量ながらあり。
	下旬		
○			
エレムス	上旬	長野・岩手 新潟	長野は昨年同様で出回りは少ない状況。中旬頃に長野県産の露地物の出荷が終わり、中下旬頃から岩手、新潟より黄色・オレンジ中心に出荷を予定。
	○		
	中旬		
	○		
	下旬		
○			
スターチス	上旬	長野・群馬	各産地出荷最盛期に入っていき、数量増加の入荷となり、上位等級が中心の荷姿となる。
	○		
	中旬		
	○	和歌山	出荷終盤に向かい、数量減少傾向。下位等級が多くなっていく。
	下旬		
○			
HBチース	上旬	北海道	5月下旬から、週を追う毎に日量5,000本程増加してくる見込み。6月上旬までは大きな増加予定はないが、中旬からは数量増加が続き、下旬まで順調な出荷となる見込み。
	○		
	中旬		
	○		
	下旬		
●			
ガーベラ	上旬	静岡	改植が進み、数量は5月の横這いからやや少なめで推移。
	△		
	中旬	宮城	改植は進むが、数量は静岡と比べ月末にかけて徐々に増加傾向となる。
	△		
	下旬	福岡	改植は他県同様進むが、生産量は大きく減っており、昨年同様少ない数量で推移。
	△		

※出荷ウエイト予測・・・昨年対比率(%)における上・中・下旬の出荷ウエイト予測。◎非常に多い、●多い、○中間値、△少ない、▲非常に少ない

品目品種	出荷ウエイト予測	主産地	産地状況コメント
デルフィニューム	上旬	愛知	シネンシ系青・水色系中心に出荷があり、6月いっぱいの出荷となる。下位等級がメインとなる。
	○		
	中旬	北海道	6月から数量が徐々に増加してくる見込み。下旬に各産地で数量が纏まる予定。
○			
デルフィニューム	下旬	長野	6月から数量増加の見通し。天候にもよるが、通常の状態であれば、6月23日～25日で数量が纏まる見込み。
	○		
プハリア	上旬	福岡 東京(大島)	福岡は作付け減っており、やや少なめで推移。熊本、大島は上旬より増加傾向で安定した出荷となる。
	○		
	中旬		
	○		
プハリア	下旬		
	○		
	○		
	○		
シャクヤク	上旬	長野	5月下旬に路地物の最大ピークを迎える予定。当初は出遅れる話も出ていたが、例年通りの出荷を予定してる。6月に入りたらだと出荷となるが、一気に出荷量は減少していく。
	○		
	中旬	北海道 新潟	北海道は6月中旬に出荷が纏まってくる見込み。新潟に関しては例年より早い出荷となる見通しで、5月下旬から数量が増加してくる予定。
	○		
リシアンサス	下旬	静岡	2番花のピークが1～2週目となる予定。各色まとまった入荷を見込む。
	○		
	中旬	茨城	共撰は、6月に入り中下旬に向けて数量増加。品種も増え本格出荷となる。個選は、作付けがなく7月下旬辺りからとなる予定。
	○		
下旬	長野	6月上旬から出荷が始まるが、一部のみとなり品種も限定される。本格的には下旬からの出荷となる。	
○			

※出荷ウエイト予測・・・昨年対比率(%)における上・中・下旬の出荷ウエイト予測。 ○非常に多い、●多い、○中間値、△少ない、▲非常に少ない

品目品種	出荷ウエイト予測	主産地	産地状況コメント
カスミソウ	上旬	福島 北海道	福島は5月末からの出荷開始となり、例年並み。 北海道は若干作付け増となり、輸送整い次第、数量が増加する。
	○		
	中旬	熊本 和歌山	
	○		
	下旬		
○			
ネティブフラワー	上旬	輸入	現地はトップシーズンに入り潤沢な品揃えだが、各商社航空運賃の大幅な値上げに耐えられず、またスペース確保が困難な為、少量の入荷となる。
	△		
	中旬		
	△	国産	
	下旬		
△			
ソリダゴ	上旬	長野	上旬から出荷始まるが、ピンチするタイミングをずらしている為、例年下旬に迎える大きなピークは緩やかになる見込み。
	○		
	中旬		
	○	鹿児島	
	下旬		
△			
クレマチス	上旬	岡山・長野	岡山は輸送が困難で通常出荷は今の所できない見込み。 長野はやや出荷ウエイトは高まっており、ベル咲中心に昨年並の出荷となる。露地の作で上旬数量が纏まる品種も一部あり。
	△		
	中旬		
	△		
	下旬		
△			
ソリダクサバナ	上旬	群馬	セタムの定植はやや遅れてる為中旬以降にピークとなる。 アルケミラ、アストランティアなどは安定した出荷となる。
	○		
	中旬		
	○	他県	
	下旬		
○			
※出荷ウエイト予測・・・昨年対比率(%)における上・中・下旬の出荷ウエイト予測。 ◎非常に多い、●多い、○中間値、△少ない、▲非常に少ない			

品目品種	出荷ウエイト予測	主産地	産地状況コメント
ヒマワリ	上旬	北海道	<p>本年は早くから数量が纏まる出荷状況が見込まれる。 北海道の一部産地で関西方面へのエア配達が出来ない為、関東での出荷が増える見込み。 輸送以外では大きな問題は無い為、これからの天候に左右されるが、順調な出荷となる見込み。</p>
	○		
	中旬		
	○		
	下旬	千葉	<p>台風の影響から出荷量は例年より少なくなる見込みだが、八重系品種などバラエティー豊富に今後品種が増えて来る見込み。</p>
ブルースター	上旬	高知	<p>ブルー系は色のりを考慮し、秀品規格から無印規格のみの出荷へと変更になる。 白は安定出荷が続く見込み。</p>
	○		
	中旬		
	○		
	下旬	長野	<p>農協出荷、個人出荷とも生育順調な為、安定的な出荷となる見込み。</p>
	○		

※出荷ウエイト予測・・・昨年対比率(%)における上・中・下旬の出荷ウエイト予測。 ◎非常に多い、●多い、○中間値、△少ない、▲非常に少ない